

No 106

事務事業評価票

所管部長等名	建設部長 船藏 満彦
所管課・係名	下水道建設課 計画係
課長名	湯野 孝

評価対象年度 平成23年度

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	市内一円都市下水路整備事業		「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名
会計区分	一般会計		
予算の事業名	都市下水路維持管理経費		
事業コード(大一中一小)	10 — 05 — 01	—	—
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章) 第3章 安全で快適に暮らせるまち 施策の大綱(節)【政策】①うるおいのある快適なまちづくり 施策の展開(項)【施策】⑤下水道の充実 具体的な施策と内容 (2)市街地における浸水防除		
根拠法令、要綱等	下水道法 第3章 都市下水路(第二十六条—第三十一条)		
実施手法 (該当欄を●)	○ 全部直営 ○ その他()	○ 一部委託 ● 全部委託)	法令による実施義務 (該当欄を●) ● 義務である ○ 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前	終了年度 未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)	
		宮地都市下水路の維持管理を行い、宮地地区の浸水防除を図る。	浸水解消による生活環境の確保を目指す。	
内容 (手段、手法等)			宮地都市下水路の清掃維持管理に関する業務を地元有志団体に委託している。	
事業開始時点からこれまでの状況変化等		なし		

コスト・成果指標の推移

コスト	総事業費	単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込
	事業費(直接経費)	千円	976	976	976	976	976	976
財源内訳	国・県支出金	千円						
	使用料・手数料	千円						
	市債	千円						
	その他(受益者分担金)	千円						
	一般財源	千円	696	696	696	696	696	696
	概算人件費(正規職員)	千円	280	280	280	280	280	280
	正規職員 従事者数	人	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
	臨時職員等従事者数	人						

（もたらそうとする効果の数値化）	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	①								
	②								

<記述欄>※数値化できない場合

清掃維持管理業務であるため、数値化するべき成果指標は設定できないものの、宮地都市下水路の清掃維持管理に関する業務は、当初より地元有志団体に依頼し、低コストにより実施されており、地元にも根付いているため、今後も継続的に実施していくことが必要である。

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の妥当性	【計画上の位置付け】 ① 事業の目的が上位政策・施策に結びつきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	C	(現状分析等) 宮地地区の浸水防除のための必要な維持管理事業である。
	【市民ニーズ等の状況】 ② 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A	
	【市が関与する必要性】 ③ 市が事業主体であることは妥当ですか(国・県・民間と競合していませんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A	
活動内容の有効性	【事業の達成状況】 ① 成果目標の達成状況は順調に推移していますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	(現状分析等) 宮地地区の浸水防除のための維持管理事業であるため、今後も継続して実施する必要がある。
	【事業内容の見直し】 ② 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	
実施方法の効率性	【民間委託等】 ① 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	(現状分析等) 宮地都市下水路の清掃維持管理に関する業務は、当初より地元有志団体に依頼し、低コストにより実施されており、地元にも根付いているため、今後も継続的に実施していくことが必要である。
	【他事業との統合・連携】 ② 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	
	【人件費の見直し】 ③ 非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費の削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	
	【受益者負担の適正化】 ④ 受益者負担に見直しの余地はありませんか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由)																		
		維持管理業務であり、当初より地元有志団体に依頼し、低コストにより実施されており、地元にも根付いているため、今後も継続的に実施していくことが必要である。																		
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果		改革改善による期待成果																	
			<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持																			
	低下																			

外部評価の実施	無	実施年度	
---------	---	------	--

決算審査特別委員会における意見等	(委員からの意見等)
------------------	------------